

【情報公開文書】

2021年4月23日作成

Ver.3.0

研究課題名	二分脊椎患者における骨微細構造の解析： 高解像度 CT(HR-pQCT)を用いて
所属（診療科等）	長崎大学病院 リハビリテーション科
研究責任者	松林 昌平（助教）
研究機関	この研究は長崎大学病院 リハビリテーション科と整形外科で実施します。
研究期間	2021 年 1 月 19 日～2024 年 12 月 31 日
研究目的と意義	二分脊椎患者は小児期から骨折を生じ、成人になってから骨粗鬆症となります。二分脊椎患者における骨粗鬆症の頻度の高さは指摘されていますが、具体的な対応策は明らかになっていません。 本研究では、二分脊椎の治療歴のある患者さんを、HR-pQCT を用いて詳しく調査し、健常人のデータと比較します。それにより二分脊椎による骨粗鬆症のしくみを明らかにします。これらのデータは、今後の骨粗鬆症の治療法の開発にもつながると考えています。
研究内容	●対象となる患者さん 健常人として、当施設による「原発性骨粗鬆症の病態解析：HR-pQCT による骨微細構造の加齢・骨粗鬆症変化の横断・縦断調査」より得られたデータの 500 名より、同年齢にマッチングした人 二分脊椎患者として手術、投薬、リハビリテーション、装具療法等の関わりを行った二分脊椎患 50 名 ●利用する情報 患者背景：生年月日、身長、体重、現病歴、既往歴研究用薬投与状況 高解像度 CT（HR-pQCT）：皮質骨微細構造、海綿骨微細構造、骨密度 骨密度検査（X 線骨密度測定：DXA）、超音波骨密度測定：QUS）：骨密度 単純 X 線検査：腰椎、胸椎 脆弱性骨折の有無 血液学的検査：WBC, RBC, Hb, Plt , Ca, P, ALP, TP, Alb, BUN, Cre, Na, K, Cl, AST, ALT, GTP,UA, CRP, TC, TG, PTH, 研究用血液学的検査：TRACP5b, P1NP, 25OH ビタミン D 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。 ●研究の概要・方法 通常診療で行う、骨密度、単純 X 線（脊椎）、血液検査のデータを研究利用のための情報として使用します。

	高解像度 CT で手首と足首の骨の詳細な構造を調べます。研究用血液検査で骨の代謝を調べます。 二分脊椎患者と高解像度 CT と研究用血液検査を比較することで、二分脊椎により骨にどのような変化が生じているかを調査します。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：松林 昌平（医師） 長崎大学病院 リハビリテーション科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7321 FAX 095（849）7325 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）